

過酷な環境でも人協働ロボットの導入が可能に 人協働ロボット MOTOMAN-HC10DT 防じん・防滴仕様タイプを発売

近年は、深刻化する労働力不足を背景に、様々な分野でロボットを活用した自動化による生産性向上や製造コスト削減が強く求められています。そのため、安全柵が不要*1で人と並んで作業ができる人協働ロボットの活用により省スペースでフレキシブルな生産ラインの実現が期待されています。

このたび、人協働ロボットの新たなラインアップとして、ちりやほこり、また液体などへの耐環境性を向上させた人協働ロボット MOTOMAN-HC10DT防じん・防滴仕様タイプ(可搬質量10kg、最大リーチ1200mm)を製品化し、7月9日より販売開始しました。

工作機械へのワーク投入など、ちりやほこり、液体の混入などが想定される過酷な環境においても人協働ロボットの導入が可能になり、多様化するお客様のご要望に応えます。また、ロボット先端部にコネクタを設置したことで、ロボットハンドなどのツールを直接取り付けることが可能になり、より使いやすさが向上しました。

主な用途 自動車・機械関連部品などの搬送・組立
工作機械へのワークの投入(マシンテンディング)
食品の搬送*2・薬品・化粧品などの搬送



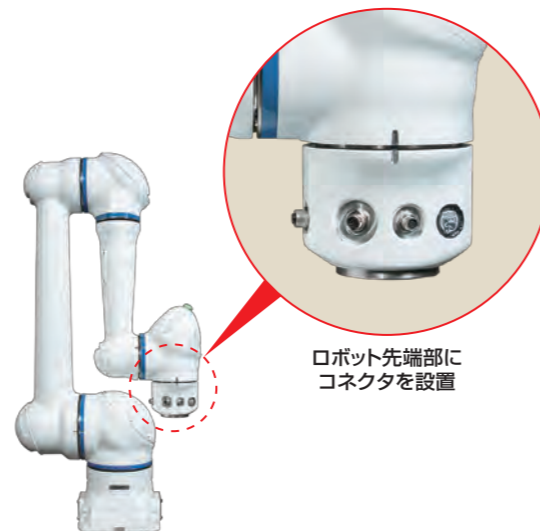
MOTOMAN-HC10DT防じん・防滴仕様

防じん・防滴保護等級*3で、 IEC規格のIP67*4を全軸において実現

全軸においてIP67の防じん・防滴構造を実現しており、標準仕様のMOTOMAN-HC10DTIに比べて耐環境性を大幅に向上しました。また、表面にアクリルウレタンを塗装し、先端フランジの材質にはステンレスを採用することで、衛生面への配慮から水洗が必要な用途での使用も可能です。

使いやすさの向上

ロボット先端部にコネクタを配置したことでツールを直接取り付けることが可能で、セットアップ時間の短縮にも貢献します。また、ロボット内蔵ケーブルについても、ロボット先端へのカメラ搭載などに便利なEthernet用ケーブル内蔵タイプを新たに準備しました。



ロボット先端部に
コネクタを設置

*1 安全機能により安全柵なしのシステム構築が可能ですが、全てのケースにおいてリスクアセスメントを実施する必要があります。

*2 SIやユーザーとの間で十分なリスクアセスメントを実施したうえで適用ください。

*3 IEC(国際電気標準会議)で定められている製品の防じん・防水における保護等級(International protection Code)。

*4 IP67:じんあいは侵入せず、一時的な水没に対して保護できる。

* Ethernetは、富士ゼロックス株式会社の商標です。

● お問い合わせ先：ロボット事業部 事業企画部 営業推進課 TEL: 093-645-7703 FAX: 093-645-7802

上腕部の中空化により艤装ケーブルの内蔵が可能、ワーク接近性向上を実現 MOTOMAN-GP20HLを発売

ハンドリングで使用されるロボットは様々な業界や用途で使用されるため、それらの市場ニーズにタイムリーかつ的確に応えるべく、当社では様々な製品ラインアップを開発・製造し、市場へ提供してきました。

多用途適用型ロボット(GPシリーズ)の新たなラインアップとしてこのたび発売したロングアームタイプのMOTOMAN-GP20HL(可搬質量20kg、最大リーチ3124mm)は、上腕部の中空化(ストレート中空φ50を確保)により艤装ケーブルの内蔵が可能で、さらなるワーク接近性の向上を実現しており、シーリング用途をはじめ部品の搬送、組立、ロードアンロードなど様々な分野の自動化に活用できます。

また、新たな制御方式を採用した世界各地で異なる電圧や安全規格にも対応できる新型ロボットコントローラYRC1000と合わせて使用することで、ロボットのパフォーマンスを最大限に引き出すことが可能です。



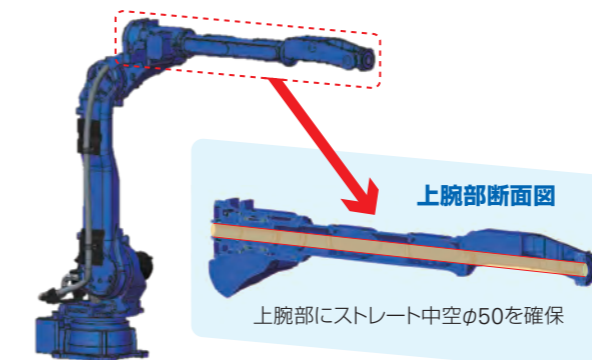
MOTOMAN-GP20HL

YRC1000

主な用途 自動車・機械関連部品などのシーリング用途や
搬送・組立、ロードアンロードなど

ワーク接近性の向上

上腕部の中空化により、艤装ケーブルの内蔵が可能で周辺設備とのケーブル干渉を気にせず使用することができ、ワークとの接近性向上を実現しています。また、艤装時間の短縮にも貢献します。



MOTOMAN-GP20HL

ロボットの出しうる最高速度で動作

最高速度動作指定(VMAX機能)により、直線動作時の最高速度制限を撤廃。ロボットの教示位置・姿勢に応じて、直線動作可能な最高速度を自動計算して動作します。これにより、従来の最高速度制限以上の高速度で動作することが可能となり、ロボットの動作時間を短縮します。

動作速度変化によらず軌道は1本

新たな軌跡制御の採用により軌跡誤差を最小化(当社従来比80%向上)しているため、テスト運転・プレイバック時も動作速度変化によらず同じ軌跡で動作可能です。

セットアップ時間の短縮と省配線

従来機種では2本必要だったロボットとコントローラ間の接続ケーブルが1本のみとなりました。これにより設備立ち上げ時間を短縮するとともに、配線の少ないすっきりとした設備を実現します。

メンテナンス性の向上

マニピュレータ内部の通信線の断線や各軸サーボモータのエンコーダ異常が発生した際には、プログラミングペダント上に異常アラーム(該当ロボット軸の通信エラー)を表示し、異常箇所を特定しやすくなりました。また、通信線の断線時の仮復旧や異常箇所特定のための仮配線を行えるマルチポートが各部位に標準搭載されており、仮復旧・仮配線にかかる時間が短縮できるなど、メンテナンス性にも非常に優れています。

● お問い合わせ先：ロボット事業部 事業企画部 営業推進課 TEL: 093-645-7703 FAX: 093-645-7802